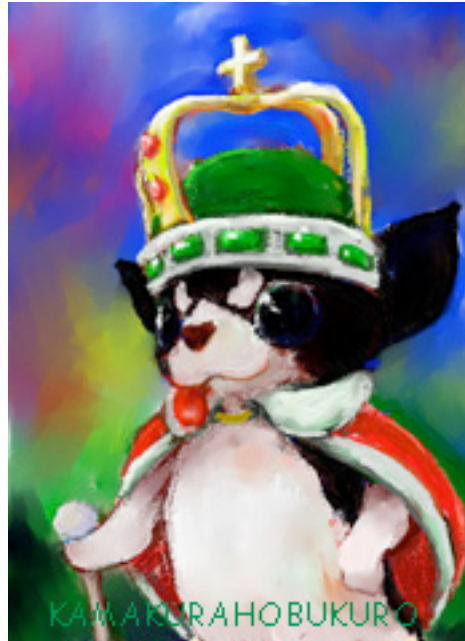


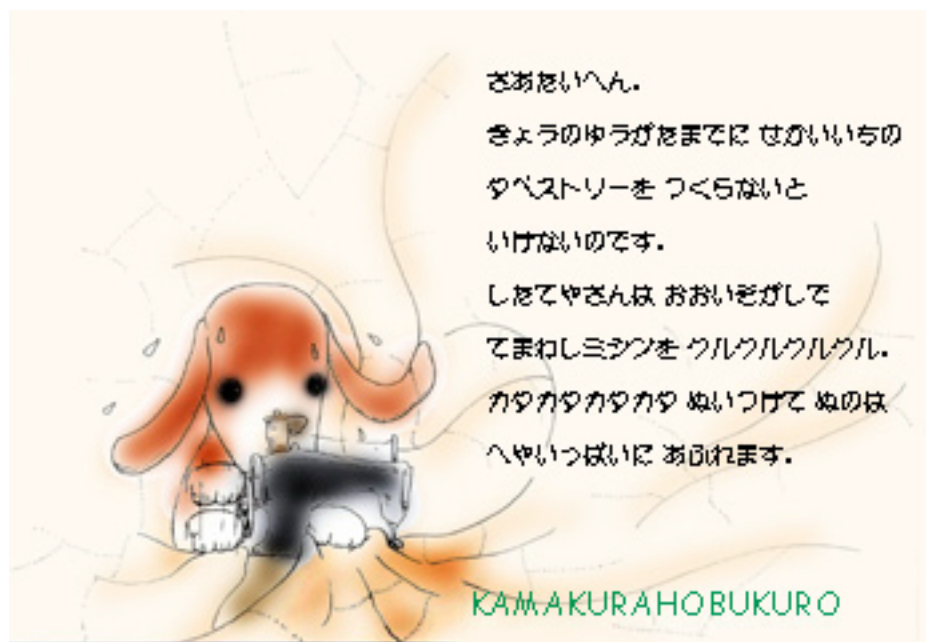


くるくるミシンと空飛ぶぬいぐるみ王国

王様は おしろを見あげては
おきげんになります。

「石づくりの りっぱなおしろじゃが
じみでいかん。
ぞうじゃ せかいいちのタペストリーを
かべにかさろう。
したてやに きょうのゆうがをまてに
つくらせるのじゃ」





さあおいへん。

きょうのゆうがをまでに せかいいちの
タペストリーをつくらないと
いけないのです。

しるてやさんは おおいぞがしで
てまわしミシンをクルクルクルクル。
カタカタカタカタ ぬいつけて ぬのは
へやいつばいに おひれます。

KAMAKURA HOBUKURO



ぞうしてとうとう まどから
はみだしたところに
びゅうっ！
つよいがせが ぶきつけました。

「おおっ たいへん
しほてやさんが とばされちゃー！」
みんなでおいかけて しほてやさんを
たすけようとするのですが



かぜにのって どんどん
とばされていきます。
まをひとり まをひとりと
したてやさんを 抱すけるために
しがみついていって



KAMAKURA HOBUKURO

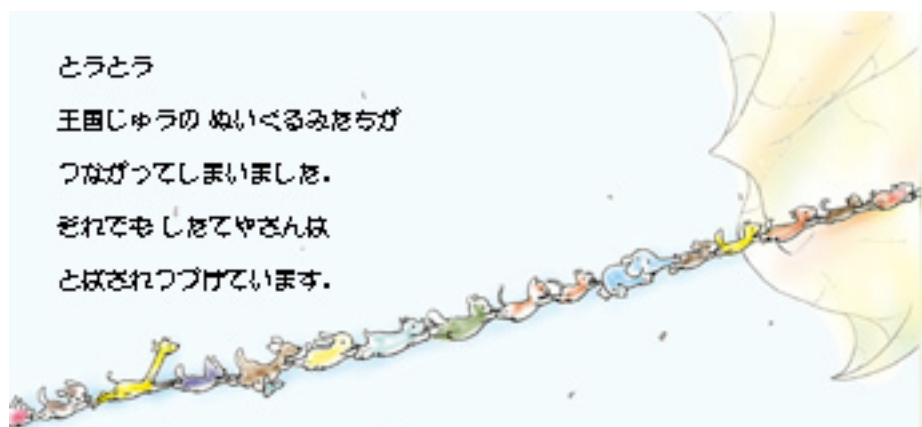
とうとう

王国じゅうのぬいぐるみたちが

つながってしまいました。

それぞれをさがしてやさんは

とばされつづけています。



それは

どうしてかというと…

KAMAKURAHOBUKURO



ゆうがたに まにあうように
タペストリーをぬいつづけて
どんどん大きく なっているからですね。
こうしているあいだにも
カフェの parasol を
ウルウル カタカタ…

KAMAKURA HOBUKURO



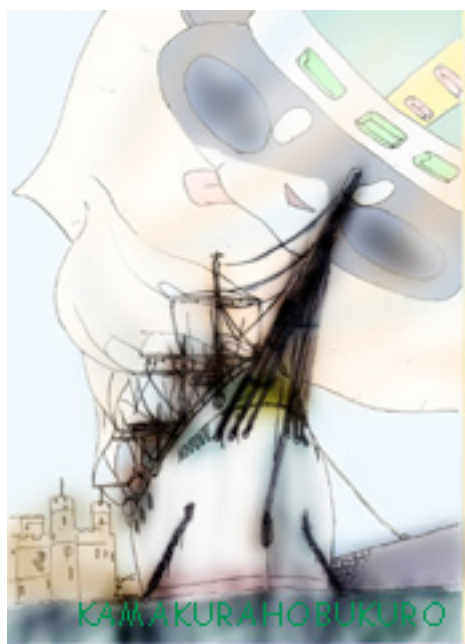
トラックのやねも
ウルウル カタカタ…



レストランのひさしを
ウルウル カタカタ…



おしろのはた
ウルウル カタカタ…
王様のマント
ウルウル カタカタ…
「わーっ！」



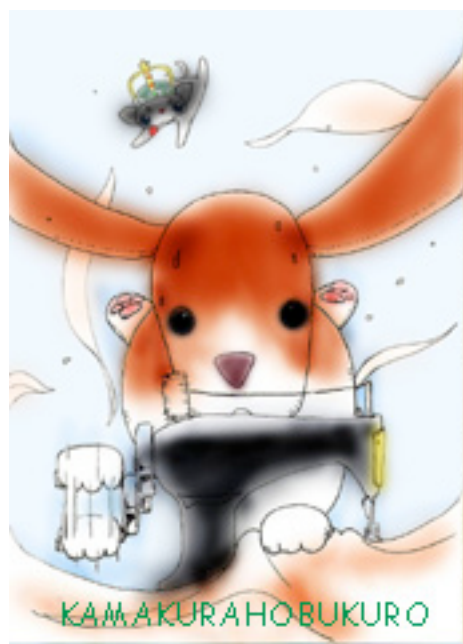
はんせんのほ くるくる カタカタ…
「おお すぞいぞ これぞせかいの
タペストリーじゃ！」



KAMAKURAHOBUKURO
「むっ？ こんどいとがほつれとるぞ！」



王様が すーつといとをぬくと
タペストリーはバラバラに…。
たいへん！
とばされてきた ぬいぐるみたちも
みんな海に まつさのさま！。



しほてやさんは あわてて ぬのをあつめて

ウルウル カタカタ ウルウル カタカタ

カフェの parasol

トラックのやね

レストランのひさし

おしろのはた

王様のマント

はんさんのほ

ウルウル カタカタ

ウルウル カタカタ

ウルウル カタカタ

ウルウル カタカタ

ウルウル カタカタ

ウルウル カタカタ

ウルウル カタカタ

ウルウル カタカタ...





ああ よかつを みんな頂じです。

「でかしたぞ したてや

くんしょうをやるラ！」

「でもタペストリーを さいしょから

つくりなおさないと…」

「だめー！」

王国じゅうのぬいぐるみたちが

ひえをぞろえて いいました。